

## 赤こんりポート

馬場利男リポーター



## 音楽でつなぐ地域の心ときずなパート2

「武佐の大地に響け若者の思い♡つなごう地域のきずな・ありがとうの5文字とともに」と題した音楽イベントが、武佐学区まちづくり協議会主催で、6月17日午前10時から開催されました。第1部では八幡東中学校吹奏楽部が地域住民の前で日頃の成果を発表し、演奏後には盛大な拍手がいつまでも鳴りやみませんでした。第2部は案内人の「しいずん」が「次世代からのバトンをうけて・歌と語りの世界へ」として、懐かしい歌を数曲歌い、参加者も一緒に歌いながら青春時代に思いをはせていました。また、東中生応援ブースが設けられ、ガチャガチャ抽選会、カレーや手作りパンのバザーが開かれました。若い世代が地域活動に参加することで、地域の絆が強まり、つながりが深まっていくことを願います。

## 赤こんりポート

松村美沙枝リポーター

木で育む思いを継承  
知育チームの新たな挑戦

「木の童具村」さんはこの6月にオープンされた木のおもちゃとボードゲームの専門店。もともと同名のお店が彦根にありましたが、店主の引退とともにお店存続の危機に。当時お客さんだった馬場真鯉さんが、「お店がなくなれば、たくさんの幼稚園・保育園がおもちゃの探し場に困る」ことに危機感を感じ、前店主から全てを継承し近江八幡で新たにスタートしました。長年されている知育レッスンの知識を生かしておもちゃ選びもサポートしており、近江八幡、滋賀になくてはならないお店になること間違いなしです！

## 赤こんりポート

渥美勉リポーター

歴史ある町家に現代の風  
～旧市街地の町家でお茶会が開催されました～

夏の暑さに向かう6月11日、旧市街の町家でお茶会が開催されました。BIWAKO ビエンナーレに作品を出展している新進気鋭の作家・田中哲也さんが制作した道具を使用し、歴史を感じる空間に新しい風が吹き込まれ、心地よい時間が流れました。企画したBIWAKO ビエンナーレ総合ディレクターの中田洋子さんは「現代まで残された貴重な町家で歴史や文化を感じてもらいながら、現代の作品も楽しんでいただけたらうれしい」と話し、参加者からは「最初はお作法が難しそうでしたが、斬新で可愛い茶器の制作過程の話を聞けてとても楽しかった」との声がありました。参加者の声を聞いた中田さんは、「紅葉がきれいな季節にまた開催したい」と話していました。

## 赤こんりポート

東恵子リポーター



## 小6児童に大迫力のオーケストラ演奏会

芸事のう達人を願う風習もある七夕の日に、アートで上げる子どもの未来プロジェクトの1つ、市内12校787人を招いた「オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ」の音楽鑑賞会が文化会館大ホールで開かれました。

演奏前から会場はワクワク感に包まれ、演奏が始まると子どもたちは、体を揺らしながら楽しそうに聴き入っていました。リズム遊びのコーナーもあり、さらに盛り上がり「迫力があるプロの演奏が聴けて良かった、もっと聴いていたかった」と感想を話してくれました。

これからもこういったイベントが続くと良いですね。

6月17日



## ヴォーリズゆかりの西洋料理を再現

ウィリアム・メレル・ヴォーリズゆかりの西洋料理がウォーターハウス記念館で再現されました。

料理は、ヴォーリズを支えた吉田悦蔵さんの妻で近江家政塾を主宰した清野さんのレシピを同塾ボランティアグループ「あじさい」が再現。悦蔵邸で見つけた直筆のレシピ「ミートローフ」をメインに「南蛮すいとん」、「うなぎ豆腐」など13品が提供されます。再現料理のランチと記念館のガイドは12月まで月1回の開催が予定されています。詳しくは、近江八幡まちや倶楽部(TEL)(32)4654)まで。

プチ  
特集

夏がやってきた!!

コロナ禍で、規模を縮小していたさまざまな市内の行事が復活!!夏のイベントをまとめて紹介します。



## 6月25日 観客復活 びわ湖トライアスロン

宮ヶ浜周辺と大中の湖干拓地で、トライアスロンが開催されました。約440人が参加し、自身の力を出し切りました。



## 7月17日 誰でも簡単に! 八幡堀で魚釣り大会

八幡堀の本町橋から幸円橋までを会場に魚釣り大会が開催され、親子約65組が参加しました。初めての人でもすぐに釣れ、親子で魚釣りを楽しみました。

7月8日



## まち歩きマルシェでにぎわい一つに

「まち歩きマルシェ in 安土」が安土駅前商店街、安土コミュニティセンター、沙沙貴神社などで開催され、まち歩きや買い物を楽しむ多くの人でにぎわいました。

安土コミュニティセンターから沙沙貴神社までの約1.5kmの間には60店舗が出店。市内の店舗はもちろん、日野町など市外からも多数の出店がありました。

あづちマルシェの代表・野田哲さんは「今日はたくさんの人に来てもらい大変うれしい。これからも他の団体などと協力して、安土学区全体で一緒に盛り上げられれば」と話していました。



## 7月8日 びわ湖お魚探検隊主催 地引網体験

琵琶湖に生息する魚を学習し、水辺の景観・水質保全の大切さを知ってもらおうと、沖島町の宮ヶ浜で地引網の体験が行われ、市内外から約50組の家族が参加しました。

7月8日 三世代交流の子ども食堂  
「スエばあちゃん食堂」でそうめん流し

約6メートルの本格的な流し台でそうめん流しが行われ、午後7時頃までに、子どもから高齢者まで約60人が流しそうめんを楽しみました。